

「みらいのおおくま みんなでたてものづくりワークショップ」

【どこで過ごしたい?～タマル、アソブ～】

日 時 令和6年6月15日(土) 13時30分～16時30分

場 所 大熊町役場1階 多目的スペース (一部ワークについては役場前の広場にて開催)

参加者 10名

主な内容

- ・社会教育複合施設と施設周辺の大野駅西エリア整備についてご説明
 - 施設コンセプト・活動方針・整備スケジュール等
 - 社会教育複合施設整備事業の進捗状況
 - 駅西エリアの整備状況 (産業交流施設・商業施設)

- ・設計者より社会教育複合施設の設計プラン (6月時点暫定版) のご説明
 - 基本計画について
 - 6月暫定版のプランについて

- ・ワーク① (役場前広場にて開催)
 - 柱間 (柱と柱の間の空間、距離) の体験。紐を用いて社会教育複合施設の設計プラン (6月時点暫定版) における柱間(7200mm)に囲まれた空間 (7200mm×7200mm) と同じ広さを再現し、参加者に体感いただくことで実際の空間の広さを説明
 - 2人1組のペアを作り 0.5m、1m、2m、3m、5m、7.2mごとの距離で立つことで対人距離を体感

- ・ワーク②
 - 図書館、公民館、博物館それぞれを利用する場合と自由に過ごす場合を想定し、設計プラン (6月時点暫定版) の図面に足跡スタンプを押しながら施設内の移動を想像
 - 施設での自分なりの居方や望まれる活動について黄色付箋に記入
 - (ア) 町外に避難している町民、(イ) 仕事の関係で一時的に移住している方、(ウ) 観光や買い物で訪れた方・出張で来ている方など自分以外の立場の方の施設での居方を想像し緑付箋に記入
 - 今以上に帰還する方が増えた町における施設での活動を想像し緑付箋に記入
 - 以上で想像した内容をふまえ、設計プラン (6月時点暫定版) 図面の「いいところ」を青付箋に記入、「○○だったらいいこと」を赤付箋に記入

ワークの様子は次のとおり

ワーク①

(柱間の体験)



(対人距離の体験)



ワーク②
(ワーク風景)

